



神戸中学校の給食風景

子育て応援 施策を広げて

すずか 民 報

第150号
2018年5月

日本共産党鈴鹿市議団 市議会報告

末松市長は3月議会での「施政方針」の中で、「安心して子育てができる環境の整備」を重点にしています。共産党市議団はこの市長の姿勢を評価し、鈴鹿市が子育て支援の先進となるよう、その実現を求めています。3月議会で森川ヤスエ議員は、子育て応援施策について質問しました。

学校給食費、 多子世帯の軽減を

子育てしやすいまち鈴鹿にするために、学校給食費の補助を2人目は半額、3人目は無償にするよう求めました。

最近では子育て支援の立場から学校給食を無償で実施する自治体が増えてきました。鈴鹿市の学校給食費は一人当たり年間約5万円かかりますので3人いると15万円と、かなり厳しい出費です。

小中学校トイレの 早期改修を

中学生の保護者からは「子どもがトイレに行くのを我慢するので便秘になって困る」、小学生1年生の

保護者からは「失敗して帰ってくる」などの個別の意見のほか、学校にかかわる多くの方から「学校のトイレなんとかありませんか」との声が聞かれます。市内の小中学校のトイレの洋式化率は31%しかありません。

今後策定する「学校施設整備方針」の中に、総合的な「学校トイレ整備事業」として位置づけるとのことですが、順番待ちという発想では、いつ終わるの心配です。

8年前に新築移転した神戸中学校のトイレは、洋式ウォッシュレット付ですが、これが全ての小中学校での標準になるよう、早急な改善が求められています。

子ども医療費の 窓口無料 小学校入学までを

鈴鹿市では、子ども医療費は中学生まで無料ですが、

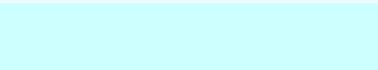


森川ヤスエ 市議

窓口にいったん支払って、後から戻ってくる方式です。昨年より、3歳まで窓口無料を県下で初めて実施しました。そして、来年4月から、小学校入学までの窓口無料にする準備が進められています。

日本共産党は、子ども医療費、障がい者医療費、ひとり親家庭医療費の、福祉3公費でも、窓口無料を求めています。すべて予算化されているものですから、あえて本人に立て替えさせないよう窓口無料は当たりまえではないでしょうか。

石田議員は、医療費は無料化された医療費より高い保険料を払わされていることになりません。一方、無料化されている子ども医療費は、1人当たり年26,400円で、国保加入の子どもは無料になった医療費より多くの保険料を払わされていることになります。



神戸中学校の「みんなのトイレ」



神戸中学校のトイレ

国民健康保険料

子どもにかけないで

子どもからも1人年4万円

石田秀三議員は、国保料の負担について質問しました。国民健康保険は他の健保制度と比べて、ひじょうに保険料が高くなっています。中でも、世帯の人数にかかると「均等割」(1人当たり年40,800円)は、生まれたばかりの子どももから賦課され、子どものいる世帯の保険料が上がる要因になっています。子どもが3人いる世帯では、年122,400円もの保険料アップになります。鈴鹿市の国保加入世帯中、15才までの子どもは約3,300人、その「均等割」保険料は総額1億3,400万円になります。

石田議員は、子ども医療費無料化の延長として、一般財源からの繰り入れも含む財源の工夫によって実現すべきだと提案しています。



石田 秀三 市議



14億円ものため込み使い 介護保険料、引き下げを提案

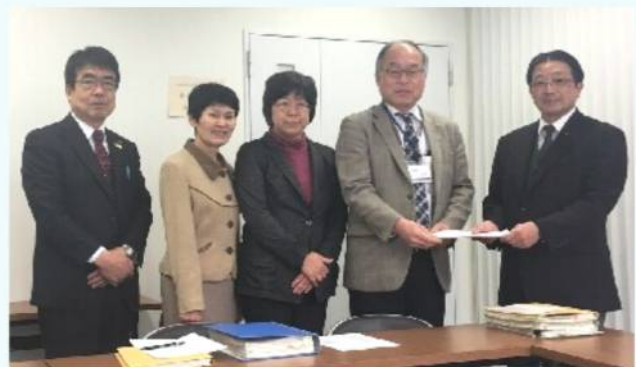
4月から値上げに

3年ごとに見直される介護保険事業の、介護保険料の引き上げが、鈴鹿亀山広域連合議会で決まりました。4月からの新しい保険料基準額は、年額1,090円引き上げて、69,380円となります。

共産党議員団は2月15日に広域連合へ、「第7期介護保険料基準額についての申し入れ」を行いました。その趣旨は、①第6期保険料が年3,768円も引き上げられたことで、この3年間は大幅赤字となり、基金積立と繰越金合わせて15億円の赤字が予想される。②この基金から10億円繰り入れれば保険料の引き下げが可能となる。③この剰余金は3年間に年金生活者が負担してきたものであり、保険料引き下げで還元すべきである、ということだ。

橋詰圭一議員は3月29日の広域連合議会で、3月末の基金残高は約14億円、そのうち7億円を取り崩して保険料算定をしたとのことだが、基金を9億円繰り入れれば保険料を据え置きで、10億円入れれば1人年間1,566円の引き下げが可能だ。

で、なお4億円余の基金が残ると主張しましたが、保険料引き上げ議案は賛成多数で可決されました。



鈴鹿亀山広域連合へ申し入れ

Cバス運賃

高齢者・学生割引を

市は4月から、「運転免許証を返上した」市民にCバス運賃を半額にする割引を始めました。このこと自体は良いことですが、一方で、2年前に値上げされたままです。

3月議会代表質問の中で石田議員は、長年Cバスを利用しバス運行を支えてきた市民との不公平を指摘、「割引するなら、免許返納者も、もともと免許のない人も、平等に扱うこと」を求めました。

前回の値上げによって、Cバス利用をやめたり回数を減らした影響で、15%も利用者が減ったままです。

石田議員は、多くの市民が再びCバス利用を暮らしに活かせるよう、高齢者割引、学生割引の実施を求めました。

若松の金沢橋 津波避難路として整備を

3月議会で橋詰圭一議員は、橋梁の耐震化と津波避難路について、そのなかでも金沢橋と栄橋について、一般質問を行いました。

「市内全域の橋梁耐震補強計画は、橋長が15メートル以上の橋梁85橋について耐震診断を実施し、その中でも重要度が高い道路に架かる橋梁20橋を選び、優先して耐震工事を実施する計画を策定した。金沢橋と栄橋はその路線が緊急輸送道路などの重要な道路として位置づけがされていないことから、優先する20橋の補強が完了したのち、再度優先順位を見直し、耐震補強をすすめる」との答弁でした。



橋詰 圭一 市議

若松の金沢橋と磯山の栄橋の2つの橋は、その橋を渡らないと津波避難所に行くには数百メートルもの遠回りをする必要がなかった。



若松の金沢橋

特に若松の金沢橋は、築39年経過しており、橋梁の幅も狭く、歩道もありません。災害ネットワーク道路

住民にとっては津波から避難する「命の橋」となっています。

今年度「鈴鹿市人権擁護に関する施策基本方針の改定」をするにあたって、森川議員は次のことを求めました。

人権問題を取り扱う場合の指針は「日本国憲法に保障された基本的人権」に沿って考えること、その観点から近年問題が表面化してきたハイトスピーチに現れるような民族排外主義、LGBT性的少数者の権利を守ることなど、新たな人権問題

人権問題は、憲法の 基本的人権規定で

題を憲法に沿った自由と権利という表現を使った言葉で書き込むことを求めました。

特に今回の改定に当たっては、同対策審議会答申に述べられている同和問題の本質を理解し、「観念の亡霊に」とらわれた「人権イコール差別事象(同和問題)」という人権意識の間違いを反省すること、そして憲法の基本的人権規定になじまない認識の団体や学者に丸投げすることはやめて、職員間の英知で新しい時代に向けた方針を出すことを求めました。

生活保護行政は 法にそって 改善を

生活保護法は、24条第5項で申請のあった日から14日以内に要否などを書面で通知をしなければならぬとし、但し書きで30日まで決定通知を延長できるとしています。

鈴鹿市の保護行政は原則14日以内の決定はわずか5%で但し書きの30日が常態化していることを改め、法に沿った(14日以内)通知運用をすべく求めました。

などに位置付されていないからと後回しにするのではなく、歩道の設置や橋梁の整備などを行って、津波避難路として整備することを求めました。

**生活相談など
お気軽に連絡下さい**

石田 秀三 ☎371-0423
鈴鹿市伊船町 2751

森川ヤスエ ☎384-3740
鈴鹿市矢橋3丁目10-34

橋詰 圭一 ☎386-8561
鈴鹿市岸岡町 2874-1

日々の活動は
Facebook
ブログ、HPを
ご覧ください

石田 秀三
森川ヤスエ
はしづめ圭一

検索